

2023.08.21

災害ケースマネジメント説明会

災害後の被災者支援

建築士会によるアウトリーチ

(一社) 岡山県建築士会
災害対策委員会
委員長中村陽二

現地支援体制の構築

2018年7月9日～8月1日

- 倉敷市真備町中心部一帯にて、大規模浸水被害発生 6日（金）深夜～7日（土）
- ・直ちに、有志（2名）による水害関係参考資料の収集を開始 9日（月）
- 資料収集：震災がつなぐ全国ネットワークや岡山NPOセンター等の協力 主に個人ボランティア
- ・同時に各地の避難所を廻って、個別に住宅関係の被害状況を聞く 10日（火）
- とともに被害対応の相談を受ける
- ・収集資料や相談内容をまとめた**相談員用水害対応マニュアル**の作成、**と同時に相談員の養成**を開始（当初：15名） 12日（木） 主に倉敷支部
- ・連合会災害対策特別委員会真備視察（連合会副会長、委員長） 14日（日）、15日（月）
- ・県と相談員派遣体制の支援策を協議（岡山県建築指導課） 17日（火）
- 国（国交省）への支援策の打診と資料作成（県建築指導課・建築士会）
- ・被災者窓口相談会での相談員の研修会開催（市も支援開始） 27日（金）
- ・倉敷市役所にて、被災者窓口相談会開始 30日（月）～8月中旬
- ・岡山県建築士会（本部）内に、緊急電話窓口相談開設 8月1日（水）

団体間での連携が進む

おかやま建築5会まちづくり協議会（建築士会が主幹）

被災者相談の内容

- 被災者相談は（当初は市役所での面談）電話相談と現地相談
- 本部は主として電話相談（約20名：交代制）、支部は主として現地訪問相談（約30名：交代制）
- 現地で相談会のチラシを配る（アウトリーチはこの程度）
- 被災状況の聞き取りに際しては、必ず寄り添いながら。
- 悪徳業者が横行しており、法外な請求など技術的相談以外も！

建築業界団体との連携

■ おかやま建築5会まちづくり協議会

- ・ (一社)岡山県建築士会
- ・ (一社)岡山県建築士事務所協会
- ・ (一社)日本建築学会中国支部岡山支所
- ・ (公社)日本建築家協会中国支部岡山地域会
- ・ 岡山建築設計クラブ

■ その他

- ・ 岡山県建設労働組合倉敷支部他

平成30年7月豪雨の被災住宅

建築士による 建築相談会（窓口・現地）の開催

平成30年7月豪雨で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。
おかやま建築5会まちづくり協議会では、岡山県内の水害被災住宅の修理や再建に関する皆様の不安や疑問について、専門家である建築士が、技術的な面からご相談にお答えします。**(無料相談、事前予約不要)**
(注) 工事の設計、見積り、り災証明に係る被災状況調査、耐震診断等は対象外。

1 建築相談窓口

会場 | 倉敷市真備支所 (旧保健福祉会館) 3階 大会議室 (倉敷市真備町箭田 1161-1)
開催日 | 令和元年6月27日 (木) ,7月16日 (火) ,7月29日 (月)
※8月以降も開催予定
受付時間 | 10:00~12:00, 13:00~16:00
お問合せ | 倉敷市建築指導課 TEL 086-426-3501

ご相談の内容 (例)

- ・ 工事業者や工事費の見積り業者を紹介して欲しい
(現地で、工事業者等の名簿をご紹介します)
- ・ 修理の見積をしてもらったが、見積書の見方が分からない
- ・ リフォームを始めるまでしておくべきことは何か
- ・ 土壁が落ちて建物が風で揺れるが、応急的な補強をどうすればよいか
- ・ 見た目は大丈夫そうだがこのまま住んで大丈夫か
- ・ 修理すれば使えるか、建替なければならぬか
- ・ 住宅の修理をどのようにしたらよいか
- ・ 基礎や地盤はこのままで大丈夫か
- ・ 壁、断熱材など、どこまで撤去すればよいか

2 現地派遣相談

希望される方には、建築士相談員が現地に出向きご相談にお答えします。
1の「建築相談窓口」でご依頼ください。
(注) 相談員の派遣は、受付から10日程度先になります。予めご了承ください。

実施団体 | おかやま建築5会まちづくり協議会 (事務局: (一社)岡山県建築士会 TEL 086-223-6671)
(一社)岡山県建築士会、(一社)岡山県建築士事務所協会、(一社)日本建築学会中国支部岡山支所、
(公社)日本建築家協会中国支部岡山地域会、岡山建築設計クラブ
関係団体等連絡調整 | 岡山県土木部都市局建築指導課 TEL 086-226-7499

[配布用ちらし]

建築業界団体との連携

■住宅相談会の開催



窓口相談 倉敷市役所



現地相談

【相談対象：原則として住宅】

- ・ 緊急対応措置
- ・ 応急修理
- ・ リフォーム
- ・ 新築（水害対応等）
- ・ 業者紹介（見積もり、改修工事、他）
- ・ その他

行政・建築関連団体との連携

■ [行政+5団体] 定期住宅相談会の相談内容（抜粋）

- × 土壁の家だが、リフォーム方法は？
- × 仕事に行くので日中空き家。片付け方法は？
- × 仮住まいに犬を。解体予定なので新築急ぐ。支援金は、補助金の紹介
- × 応急措置未対応。どこから手をつけたらいいか。
- × 保険金なし。活支援窓口知りたい
- × 工務店多忙対応難。土壁改修しない。応急対応方法
- × 修繕か建替か。修繕の場合の応急措置、耐震診断。補助金。
- × 応急修理制度の対象となるか 修理or解体で迷い中。解体等の業者紹介希望。
- × リフォームor新築の可否。土砂処理済。
- × 支援金の受領。解体に係る支援。解体業者の紹介。
- × リフォーム希望。カビあり。対処方法
- × 天井、建具カビ発生。業者に土壁再建の可否。補助金
- × 床下40cm浸水。市職員が消毒液噴霧。このままでOKか
- × 床フローリング・壁の撤去の要否。
- × 応急措置済みだが、生臭い。現状で大丈夫か
- × 建物ジャッキアップ希望。建替か修繕か。耐震性OKか
- × 壁仕上げ・断熱材・床板撤去済。水洗い済。窓閉め切ったまま。
- × 1F床、壁、天井を撤去。耐震診断希望。建替か修繕か
- × 土壁。床板撤去、泥除去、消石灰散布、土壁存置。修繕可能か
- × 土壁(ボードもあり)。床・壁の撤去の要否。
- × 土壁。応急措置済。キッチン、洗面台、風呂が存置。土壁撤去は大丈夫か
- × 見積依頼済み。床上1mでの改修はどの程度か

福祉団体との連携

2020年2月～2023年8月現在

り災住家長期居住者等へのアドバイス事業（通称：見守り相談支援事業） 倉敷市・社会福祉協議会

倉敷市・倉敷市社会福祉協議会 真備支え合いセンターと協働で、未だ被災時のままの家屋状況で生活している方々に対し、応急的な範囲で修理をする仕組み（セルフビルド、セルフリペアー）を実施。



福祉団体との連携

2020年2月～2023年8月現在

り災住家長期居者等へのアドバイス事業（倉敷市社会福祉協議会）



**被災者の問題解決には
様々な業種が一体となって
支援していく体制が必要**

見守り支援事業における他機関ミーティング
令和2年～3年：1か月に1回のペースで開催
令和4年：2ヶ月に1回のペースで開催



（設立のきっかけの一つ）

岡山県被災者支援士業連絡協議会

設立：2022年（令和4年）1月14日

建築士会におけるケース対応

～平成30年西日本水害をふりかえって～

■うまく連携出来た事

- ・今回、国・県・市といった行政との連携がスムーズに出来た事は良かった。
- ・県や市町村との良好な関係性（いわゆる普段付き合い）が非常時において発揮。
- ・中心的な行政メンバーが建築士会会員であったことで、阿吽の呼吸で互いの状況となすべきことがシェア出来た事が大。

■今後は・・・

スムーズな連携を継続的に機能させるには、ひとえに顔の見える関係性が継続していけるかどうかである。日頃から組織同士で共同の勉強会を開催する等、意思疎通を密にする仕掛けが必要。

「福祉系」「法律系」「技術系」「ファイナンス系」等の各土業の専門家による連携

来たる災害時には、連携して活動（土業合同相談会等の実施とアウトリーチ）